

SAKEBEER NOTO 2025 イベント報告書

2025 年 10 月 8 日

タイトル：「SAKEBEER NOTO 2025」

日時：2025 年 10 月 5 日 12:00～18:00 場所：輪

島 KABULET 前通り

〒928-0001 石川県輪島市河井町 2 - 2 0 8 対象：760

名



昨年元日に起きた能登半島地震をきっかけに『こんな状況だからこそお酒を飲んで笑おう！』という思いから企画された石川県輪島市のイベントに HAPPY

JAPAN PROJECT のメンバーとして松瀬と梅村が参加しました。被災地支援として、主催者側から希望のあった地元の子供達に向けてのジュースを同じく被災地であり、HJP として支援している熊本のみかんジュースを選び当法人より寄贈させていただきました。



寄

贈先施設

- 社会福祉施設佛子園 輪島カブルー様
- 輪島市社会福祉協議会 児童クラブ様



「子供達はこういうことが本当に楽しみなので」と施設長,職員の方も大変喜んでくださいました。

2回目となる今年のテーマは、[カラフル] お酒やご当地石川のグルメの販売はもちろん、ヘアメイクやネイル、縁日などの体験ブースや無料着付け体験も用意されていました。

石川出身のアーティスト達が手がけた「オリジナル盆ダンス」やパン食い競争など、イベントも盛りだくさん。



協賛/協力
アパホテル&リゾート / アプリコットシステム株式会社
いっ"ばん"社団法人ばん食い競走協会(設立準備中) / 金沢まいもん寿司グループ
木村屋總本店 / ゴーゴーカレーグループ / TOSYO株式会社
鳥貴族(株式会社エターナルホスピタリティジャパン) / 北陸製菓株式会社
特定非営利活動法人 Happy Japan Project / NGO魅来〜笑顔届け隊澤ようこ
株式会社モスフードサービス / 有楽製菓株式会社
※敬称略、五十音順
※企業・団体からの協賛金は、経費を除き全額寄付いたします。

これらのイベントを行うには広いグラウンドが必要ですが、空き地は仮設住宅を建てているため、幅 3m ほどの通りで開かれたとのことでした。

取り壊した家や立て直した家、歪んだ電柱も近くで多く見かけました。

また金沢から車で向かいましたが、輪島に向かう唯一の道路「のと里山街道」は 2 次補正していましたが、道路は上下を繰り返すジェットコースターのように波打ち、道中に輪島を舞台にした NHK 連続テレビ小説「まれ」のテーマソングの音階がタイヤの振動音で流れる道路（ミュージックロード）があるので、そこも歪み音もずっとズレていました。

土砂崩れで山肌が見えている箇所も多く、その 1 箇所ではまだその土砂に埋もれ見つかっていない方もいらっしゃるとのこと。

また橋も崩れそれをなんとか急いで車両を通すために一時は鉄板を敷いて走っていたことも地元の方に聞きました。復興が進んでいる場所もちろんありますが、約2年たってまだ進んでいない場所を目の当たりにすると被害は想像を絶するものだったのだと思いました。



さらに 2024 年 9 月 21 日から発生した能登半島豪雨によって被害は拡大し、会場の輪島 KABULET も床上 60cm ほどの水害に見舞われました。それらを乗り越えてこのイベントは始まり、現場でお酒を飲んで楽しんでいる地元の

皆さんの笑顔に繋がっているのだと改めてこのイベントに HJP として参加出来たことに喜びを感じました。



プログラムの中の一つ「輪島の中心で愛を叫ぶ」というイベントでは地元の皆さんの心から復興を願う「子供も大人もみんな束になってかからないと能登は元気にならない！」という想いが大声で響き渡っていました。



その後同じ場所で行われたパン食い競争の参加者の皆さんに協賛品を渡すお手伝いをさせていただきました。

狭く短い距離ではありましたが、それは全く関係なく子供達を中心に皆さん終始笑顔で今を楽しんでいる様子にこちらも自然と笑顔になります。

イベントはあっという間に進み最後に地元の皆さんを中心に出演している方も一緒に盆踊りを行いました。

始まる前に盆ダンスイベントリーダーの孝藤右近さんから「東京の Happy Japan Project からメンバーが二人参加してくれています。さらにジュースを提供してもらっています。」とご紹介いただきました。

■ 曲目

- ・ 炭坑節
- ・ 輪一心（イベントのために制作された盆踊り）

- ・ 輪一心（アンコール）
- ・ 艶八宴夜節
- ・ CHA-LA HEAD-CHA-LA（ドラゴンボール主題歌）

皆さん最初は恥ずかしそうにしていたましたが、子供からお年寄りまで徐々に参加して踊られていました。

以前からの知り合いでも無い、たまたま横にいた同じ復興を願う人達が共に笑い、共に踊り、周り続けました。

途中雨が降り始めたものの、皆さんの勢いは止まらず、むしろ加速して、大盛り上がり。アンコールも飛び出し、掛け声も自然と出てきました。

能登を表したハンドサインをみんなで空に掲げ、本当に一つになれた時間でした。

イベントが終わった後に地元のお母さんとおばあちゃんが話しかけてくださり「ほんと久々に踊ったよ。楽しかったわ。またぜひ来てください。」と満面の笑顔で伝えてくださいました。

今後も能登復興に関わっていければと思っています。

引き続きよろしくお願いいたします。

